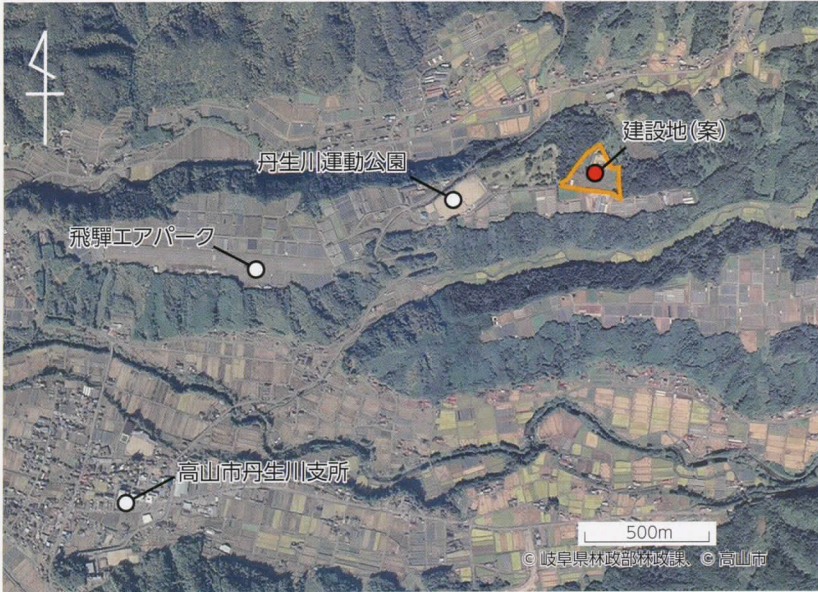


新火葬場の建設地（案）について

市は、丹生川町大萱、清見町牧ケ洞、および新宮町の3件の候補地について、4つの視点で確認や検討を行いました。その後市議会と協議を重ね、次の候補地を新火葬場の建設地（案）としました。

今後、市民説明会や地域との対話を進め、建設地の決定に向け、取り組んでいきます。



◆新火葬場建設地（案）

丹生川町大萱129番地1（代表地番）

◆検討の視点

次の4つの視点で確認や検討を行いました。

①新火葬場建設検討委員会での検討内容の妥当性の再確認

②建設や維持管理のコスト（建物に必要な工事費などを除く概算経費）の検討

③関連上位計画との整合や法令などへの対応

④パブリックコメントなどへの対応

その結果、3件の候補地とも新火葬場建設基本構想に定める基本方針に整合していましたが、整合性の度合いに若干の優劣がありました。

◆決定にあたってのポイントと考え方

基本方針との整合性に関して、候補地間の優劣があった次の3点を、選出のポイントに設定しました。

周辺環境など

故人の旅立ちにふさわしい環境であることに加え、近隣住民の生活において日常的に火葬場を意識しなくても良い立地環境にあることが望ましい

コスト面

建設や維持管理のコストは安価なほうが望ましい

移動距離・時間

利用者にとって利便性の向上に直接影響するものであるため、火葬場までの距離や時間はできるだけ短いほうが望ましい

◆最も重視したポイント

まず、コスト面については、おおむね第八次総合計画における想定事業費内であったため、コスト差を重要視するよりも基本方針との整合性を優先すべきと考えました。また、候補地間の移動距離・時間の差については、最大10分程度であり、利用者などに受け入れられると考えました。

そのため、市では、最も重視すべきポイントを周辺環境などであると判断し、住宅地や近隣の公園などから敷地を見通すことができず、周辺環境などに優れた丹生川町候補地を建設地（案）としました。

新宮町候補地は、広範囲の住宅地などから敷地を見通すことができるため、除くこととしました。また、清見町候補地は、周辺環境などに優れていますが、市が企業立地候補地として確保している土地であるため、火葬場建設と企業誘致の両方の取り組みを両立させることを考慮しました。

◆説明会および意見募集について

この内容については、説明会を開催して検討の経緯などを詳しく説明するとともに、別途意見募集を行う予定です。

説明会などの日程については、新型コロナウイルス感染症などの状況に留意しながら調整したうえで、決定し次第お知らせします。

問合せ 火葬場建設推進室 ☎57-7755

FAX 35-3164

MAIL kasou@city.takayama.lg.jp